

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700693
事業所名	グループホーム「よつ葉」

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に参加し地域の老人会の「サロン」に出かけて近所の人々と交流している。町主催の文化祭にはリハビリのつもりで個々の得意分野で作品を作り上げ、完成した喜び、人に見てもらえる満足感を味わってもらっている。ホーム主催のクリスマス会には家族や地域の人々で40人門参加があり盛況であった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	目標達成計画にも掲げ年6回の開催を目指していたが、行政・家族の日程が折り合わず5回にとどまっている。行政との交渉の結果家族が参加しやすい日曜日の出席によい返事が得られ、来年度に期している。「形だけの会議はしたくない」との思いから、自らハードルを上げている部分も感じられ、「まずお茶・食事会からでもいいのでは」と新たな希望も見えてきた。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	月1回の地域包括センターとの会議ではグループワークで、防災・事業所の実践・報告等を吐き出しあっている。町主催の年2回の文化祭では企画の段階から参加し、要望・意見等を述べ、運営に参加している。地域のサロンでは「おなじみさん」となりホームを訪れる地域住民もある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族は多くて毎週、少なくとも月一回はホームを訪れる。家族の意見を直接聞くために銀行振り込みにせず、直接持参してもらっている。パート職員の人柄もあって家族は気軽に声をかけ相談してくれる。「入居前とは別人のように穏やかになった」と家族もアンケートに答えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価			×	×		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。